

## 令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年1組～8組)

科目担当者：(1組:西本)(2組:西本)(3組:吉田)(4組:吉田)(5組:菊池)(6組:菊池)(7組:櫛野)(8組:櫛野)

教科・科目の 指導目標	評論、小説の読み取りを通じて国語力の充実をはかる。評論では論理展開や要旨の把握を、小説では心情や情景をとらえて表現を味わうことを重視する。正確かつ深い読み取りの力を養い、また表現する力をつけさせる。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	小説文の読解問題の正答率が高いのに比べ、評論文の読解問題の正答率が低く、やや苦手になっている傾向が見られる。校内で行った、模擬試験の結果も同じような傾向が見られた。またかなりの個人差も見られる。	漢字の読み書きの能力を向上させ語彙力を高める。定期的に常用漢字の読み書きの練習をさせたり、辞書を引かせたりして、文学的文章、説明的文章などにおける語句について、幅広くその意味と正確な読み書きを理解する能力を向上させる。また、朝学習の時間に漢字練習を定期的に行い、到達度を確認する。文や段落のつながりといった文脈・構成を正しく把握しながら、論理的に文章を読む姿勢・態度を身に付けさせることを通して、論理的文章を中心とした文章読解能力を向上させる。。自分の考えを正確に表現する力を身につけさせることで、話す力、聞く力を向上させ、理解したことをしっかりと表現につなげることを確立させる。以上のことを通して、総合的に大学入試レベルの学力の確立を図る。	授業で扱う教材の文章の中の漢字や語句を正しく理解させ、朝学習では補助教材を用いた漢字や語彙に関する学習や小テスト、および、小論文の書き方の基本についての学習を行う。授業では教科書作品の論理的な文章をとおして、論の展開を理解できるように指導する。授業における発言等を通して、自らの考えを正しく効果的に表現する力を育むとともに、他の意見に耳を傾け、他を理解する姿勢を身につける。その他、大学入試に向けた、私立大学入試過去問講座、小論文個別指導等の講習を開設する。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			